

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）11月6日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C20026
部門分類：130（工芸・特用作物）
発信者名：濱谷、竹若

大津市立中央小学校の児童が朝宮地域の茶業について学ぶ

10月29日、大津市立中央小学校3年生の37名が、校外学習で甲賀市信楽町上朝宮の集団茶園、製茶工場およびJAの茶集荷施設を訪問されました。当課は、受入農家と共に茶業の振興を目的に茶の生産について説明しました。

児童たちは、茶園や製茶工場を見学し、朝宮地域における茶業の歴史やお茶の生葉がどのようにして製品になるのかなどの説明を聞きました。生葉を蒸して乾燥し、加工されてできた「荒茶」にも実際に触れながら、茶園の「生葉」が「荒茶」へと変わる製造工程について学びました。

また、JAの茶集荷施設の見学では、農家から出荷された荒茶が製品へと調製される工程や冷蔵庫で保存するのが良いことなどを説明し、大型冷蔵庫等を見学されました。

児童からは、「滋賀県の茶の歴史が古いことを初めて知った」、「茶の仕事は収穫と製造もしなければならぬので本当に大変」などの感想が出され、茶業の歴史や生産について興味を持ちながら学ばれた様子でした。

当課は、次代を担う子供らに甲賀の伝統的な産業である茶生産について興味を持ってもらうため、今後も受入農家と協力し体験学習を進めていきます。



集団茶園の見学



製茶工場の見学